

防災通信 No.13

この通信はみなさんの防災意識を高めていただき、少しでも被害を小さく出来ることを目的に作成しています。ご意見等ありましたらお寄せください。

(グリーンテラス本郷台自治会)

グリーンテラスの 安否確認！ 早急に発見、救助

今回は、皆様お住いのグリーンテラス本郷台での安否確認について考えていきたいと思ひます。

通常震度5強以上の地震が発生した後に住民により安否確認を行い負傷者を発見、救出します。横浜市では、市内一ヵ所でも震度5強以上の場合に防災拠点（グリーンテラスは公田小学校）を開設し避難者の



受入体制を整えます。では、震度5強とは・・・

- 〈1〉物につかまらなると歩くことが難しい。
- 〈2〉棚にある食器類や本など落ちるものが多くなる。
- 〈3〉固定していない家具が倒れることがある。
- 〈4〉補強されていない家具が倒れることがある。

グリーンテラスは耐震構造なので簡単に崩れるということはないとされています。しかし倒れた物にぶつかる、潰される、落下物を踏みつけ足の裏を負傷する、揺れに耐えられず尻餅をつき脊髄圧迫骨折をしてしまう等いろいろな状況が考えられます。私の知り合いで脊髄圧迫骨折をした人がいますが、痛みで声もだせず全く動けない状態でした。ちょっとしたことが大けがに繋がります。この状態で助けを呼ぶには、近くの物を叩き、音で知らせるのが精一杯ではないでしょうか。安否確認では、早急に救助要請者を見つけ救出することが重要です。そのことを考慮し先に進みましょう。

震度5強以上の地震が発生。居合わせた人（自治会役員を中心）は自身の安全を確保した後、防災倉庫の安否確認要領書に沿って住民の安否確認を行います。揺れの落ち付きを見て放送を開始しますが、担当者は、階段等崩壊がないか、滑りやすい場所はないか、異臭はないか等注意をしながら巡回し放送します。異常のないお宅は門扉にタオルを掛け問題の無いことを伝えます。

本部は、集会室内玄関付近（安全を確保できる場所に本部を設置）にテーブルを設置し、卓上にはチェックシートを順に並べ、各指示はハンドマイクを使用します。放送担当者が本部に戻ったら本部の指示により2名1組で安否確認に向かい、順次戻り次第報告、本部は全員無事戻ったことを確認します。99%のお宅にタオルを確認出来れば残り1%に捜索、救助を集中できることになります。



防災倉庫（桂台第5公園）には本年から安否確認BOXを準備しました。安否確認要領書（実践用×5部・訓練用×5部）・全世帯チェックシート（7コース）・筆記用具・簡単な救助道具が収納してあります。倉庫内は夜間や雨天時を考慮してライトを設置し、電池等装填できるスペースを確保しています。自治会役員がカギを所持し、一人でもいれば開錠可能で、どなたでも要領書により安否確認を実行できます。しかしながら日頃の訓練はとても重要です。今年度は前年度の自治会役員の方の協力があり進めることが出来ました。今年度の役員が来年度に協力し、注意点等伝達して行く流れになれば、グリーンテラス内で安否確認の認識が広がるのではないかと考えます。新型コロナウイルス禍、大変な状況ですが、地震等自然災害についても常に留意しておきたいものです。皆様のご協力をお願いいたします。